



John Malkovich

1953年アメリカ・イリノイ州生まれ。84年の映画「ブレイス・イン・ザ・ハート」でアカデミー助演男優賞候補に。03年春夏から自身のブランドをスタート。現在、ビームスほかで販売中。

ジョン・マルコヴィッチ

俳優／ファッションデザイナー

記憶をつむいでデザインした、あの怪優のオーセンティックな服。

映画「マルコヴィッチの穴」など、怪優として広く知られるジョン・マルコヴィッチだが、メンズウエアを手がけるクリエーターでもあることはあまり知られていない。ブランド名は、「アングル・キモノ」。タグにも印刷されている写真を示しながら、マルコヴィッチは言う。

「家を改装したときに見つけたのですが、アメリカに住んでいた日本人の写真家が第二次世界大戦前に撮影したもののようです。前のパートナーがネガを見て、「アングル・キモノ」といったとき、これはおもしろいと思ったんです」

コレクシオンは、あくまでオーセンティックなスーツやジャケット、そしてホテルに遊び心が加えられたカシミアルなラインからなる。また、04年秋冬は、友人クリスチャン・ルブタンが彼のブランドのためにデザインした靴も展開予定。「ゲイリー・クーバーに着て貰いたいかな」と彼がいうように、デザインにはクラシックなタンデイズムが感じられる。

彼が生まれたのは、人々が常にドレスアップしていた時代の直後。デザインの基本にはノスタルジー、過去への憧れがある。考え込むように遠い目をして語る。「インスピレーションの源は、記憶」かな。古い写真、レコードジャケットとか」50年代のカリフォルニアのビーチボーイズもそのうちのひとつだ。

「私は中西部で育ったので、カリフォルニアは私にとって月に行くようなものだった。とても現実の地とは思えなかった。サーフィン、スケートボード、サーフボード、変な車。みんな幸せそうに見えた」彼はいつたい俳優業、監督業とデザイン業、どちらに情熱を感じるのだろうか。マルコヴィッチの目がきらりと光った。

「監督業が好きだけど、俳優の仕事は特別。素晴らしい仕事です。でも、モノを作る点でデザイナーとも通じますね」

マルコヴィッチだからこそ普通のデザイナーとは違う個性的な何かを生み出す、そんな予感がする。